

第15回：技能継承フォーラム

「ものづくり技能継承の現状と展望」

日時：令和5年1月20日(金) 13:30~17:20

会場：板橋区立ものづくり研究開発連携センターMIC-2 / オンライン

産業界では、団塊の世代の大量退職（2007年問題）に伴ってものづくり現場からのノウハウ消失が懸念されています。この課題は我が国におけるものづくりの根幹を支える中小企業において特に深刻といえます。本シンポジウムは、理化学研究所と産業技術総合研究所とが2009年3月まで合同で実施して参りました、「中小企業基盤技術継承支援事業」の成果普及の一環として企画致しましたもので、今日の技能・技術継承の動向や課題に対しての位置づけを議論するとともに、かかる技能・技術継承手法の改良・発展へ向けた展望と最近の取り組み事例、そして特に継承が難しい特殊加工や難削材加工の現状と動向について紹介することを目的としています。さらに、2012年度から東京都板橋区と連携して、ものづくり技術継承および産業集積化に向けた新たな研究、支援活動について紹介することで、今後の事業への取り組みへ反映することを狙いとしています。また近年では、前橋商工会議所ものづくり指南塾との連携へと活動を広げフォーラムの開催を進めております。

こうした中、我が国が直面する超高齢化社会（2050年問題）の到来を前に、科学技術の知見を活かした独自のものづくり技術のたゆみない研究開発を進め、その実用化を展開してゆくことが喫緊の課題と考えております。本フォーラムでは、理化学研究所や大学・研究機関、企業における新しいものづくり技術・研究に関するトピックスを取り上げるとともに、技術・技能の継承へとつながり得る活動の最新動向について、意見交換とともに議論を深めることを狙っています。

プログラム (司会・進行：東京都市大学／理化学研究所 亀山 雄高 氏)

13:30~13:35 開会の挨拶

理化学研究所 大森 整 氏

13:35~13:40 ご来賓あいさつ

第I部：ポリシングの新しい知見

13:40~14:40 「CMP（機械的研磨）における最近の研究動向—新奇CMP法とその装置化技術に至る研究開発の経緯を含めて—」

九州大学名誉教授／理化学研究所大森素形材工学研究室 土肥俊郎 氏

14:40~15:30 「固体電解質を用いた環境調和型電気化学機械研磨」

立命館大学 村田順二 氏

15:30~15:40 休憩

第II部：ものづくり事例紹介

15:40~16:20 「生産現場における技術と技能と経験値」

(株)シギヤ精機製作所 松本 耕 氏、永尾 公壮 氏 (理化学研究所大森素形材工学研究室)

16:20~17:10 「鍛造加工テンプレートと技能継承」

産業技術総合研究所 梶野智史 氏

17:10~17:20 総括および閉会の挨拶

産業技術総合研究所 梶野智史 氏

参加ご希望の方は、ご所属、ご住所、ご芳名、ご連絡先（TEL, FAX, E-mail）を記載の上、E-mail:

mfl@mfl.ne.jp までお申し込みください。

このシンポジウムは、理研シンポジウムの一環として行われています